

「村半」開所から3年間(令和2年7月～令和5年6月)の振り返り

1 総括

高山市若者等活動事務所「村半」の開所から3年が経過したが、開所自体、当初の4月から3か月遅らすなど、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらの運営となった。定員を半分とする利用制限や感染拡大時における閉所・時間短縮営業のほか外出自粛など、利用者自らも制約されながらも協力的であり、従来の高山市の公的施設にはなかった特徴や魅力を大いに活かした利用をされたことにより、次第に「村半」の利用頻度も増加し、認知度も高まってきたと考える。その点からは、利用者数といった量的評価は十分とは言えないものの、施設に対する市民の印象など質的な部分において一定の評価をされていると受け止める。

国が重要伝統的建造物群保存地区に選定した「下二之町大新町伝統的建造物群保存地区」に立地する地理的な価値および景観重要建造物「旧村田邸」を活用する建物上の価値に恵まれ存在そのものが魅力である。

加えて、構想～企画～整備～運営の段階を経て下記のソフト面も特徴となっている。

- ① 利用方法を利用者自らが考え楽しめる村半
- ② 利用者自らが考え、提案し、しつらえ、変化する村半
- ③ 地域とともにある、地域のためにある村半
- ④ 新たな出会いを織り成し成長する若者と村半

新型コロナウイルス感染症の影響に限らず、3年の間には順調なことばかりではなかった。例えば、地域の方にとって「どのような人が利用するのか、どのような利用のされ方をするのか」と不安がすべて払拭されたわけではない。また、市民からは本来の姿を厳密に再現したはずが、「壁面の赤系の色合いは町並を相場崩ししている」、「特定の高校のための施設のようにになっている」、「(一部の利用者であるが)利用料がかからないならどんなことにも使いたい」、「インスタグラムなど誰もがネットを使っているわけではない。もっと手に取ってわかる情報発信をしてほしい」といった声も届けられている。今後とも一つ一つの声に丁寧に対応していく必要がある。

3年間の成果としては、1、2年目に利用していた学生が、高山を離れ「ただいま」と再び村半を訪れてくれる。大学で知り合った友達などを連れ、自ら施設を案内している姿、スタッフに近況を語ってくれる姿は年数が経つほど多く見られるようになっている。また、活用方法についても地元中高生をはじめとした若者による「縁日」や「写真展」、「卒業記念イベント」の開催など、思いもよらない様々な活用が見られた。

今後ともさまざまなことが予想されるが、人生と同様に多くの人との出会いと手助けによって、利用者にとっても、地域にとっても、「村半」があって良かったと思われるよう、常に利用の状況やあり方を検証しながら、成長していくことが求められる。

1 利用実績

(1) 来所者数

利用者総数 61,019人（1日平均 68人）

うち1年目（R2.7～R3.6）：19,227人（1日平均 62人）

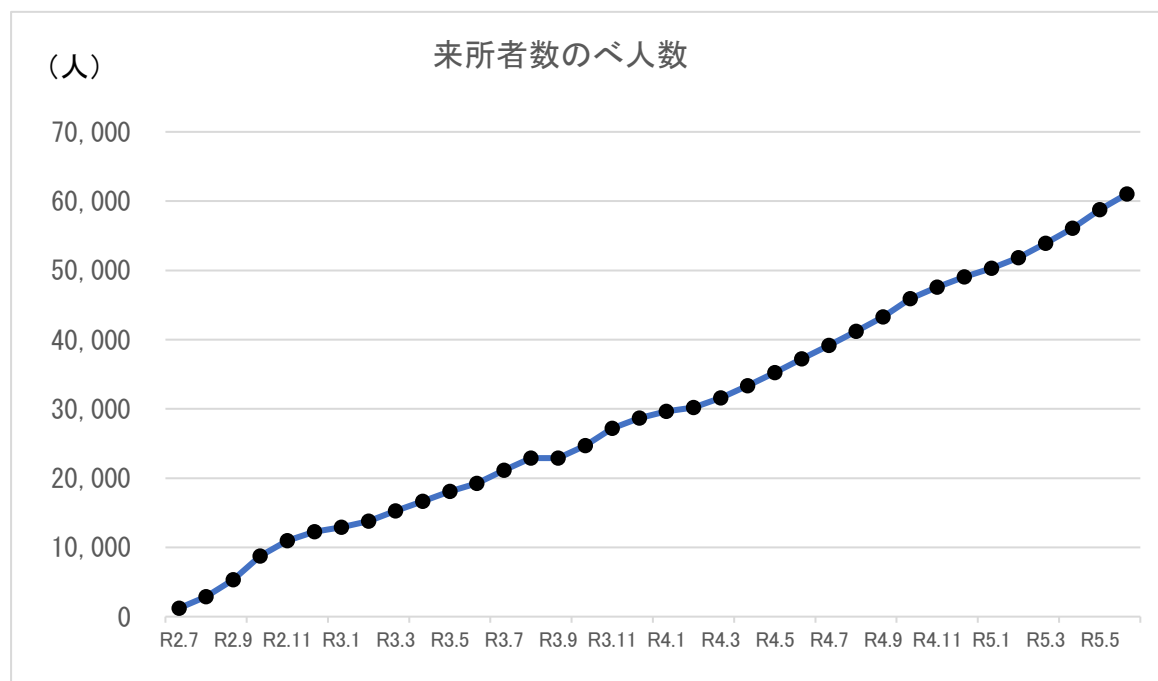
2年目（R3.7～R4.6）：18,011人（1日平均 65人）

3年目（R4.7～R5.6）：23,781人（1日平均 77人）

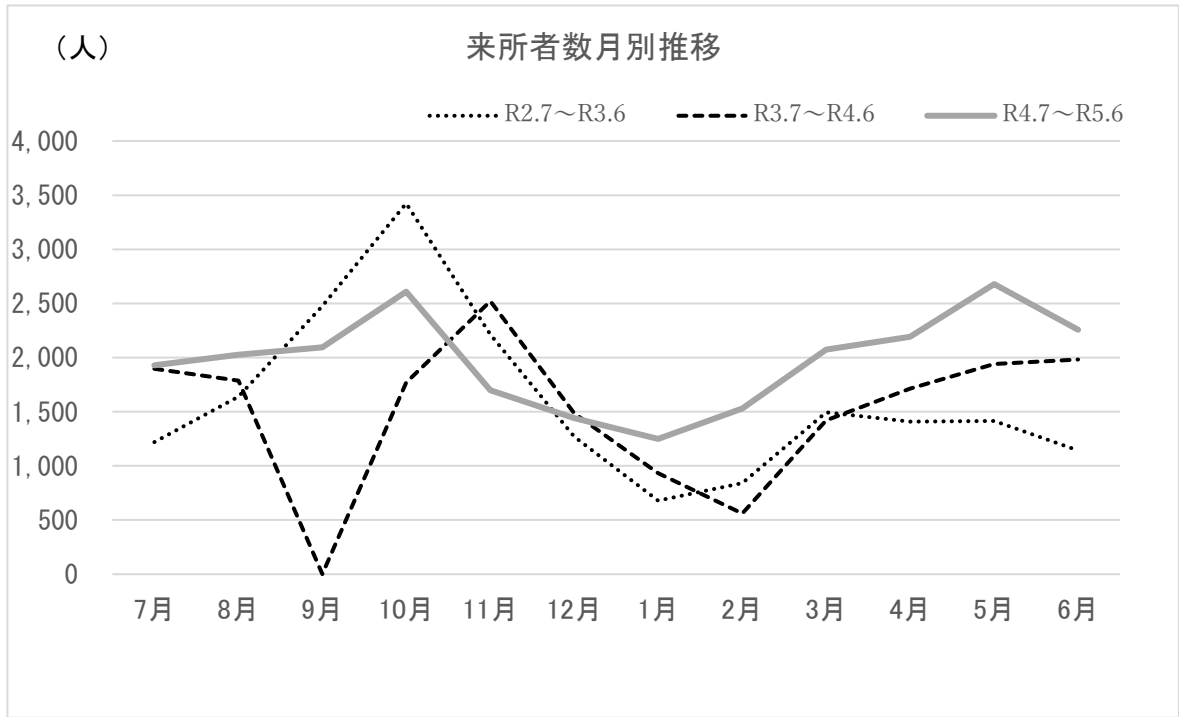
開所から2年（R2.7～R4.6）は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり地元の高校生をはじめとした地元の方の利用が多かったが、3年目（R4.7～R5.6）には、秋の高山祭（八幡祭）が3年ぶりに開催されるなど観光で高山を訪れる方が増えてきたこともあり、1、2年目よりも来所者が多くなった。（図-1）（図-2）

来所者数種別では、利用者登録者した方による利用（共用・占用）と一時的に来所した市民や観光客の利用（見学）の割合はほぼ半々であり、古い町並など観光スポットに近い立地要件による効果がみられる。（図-3）

（図-1）

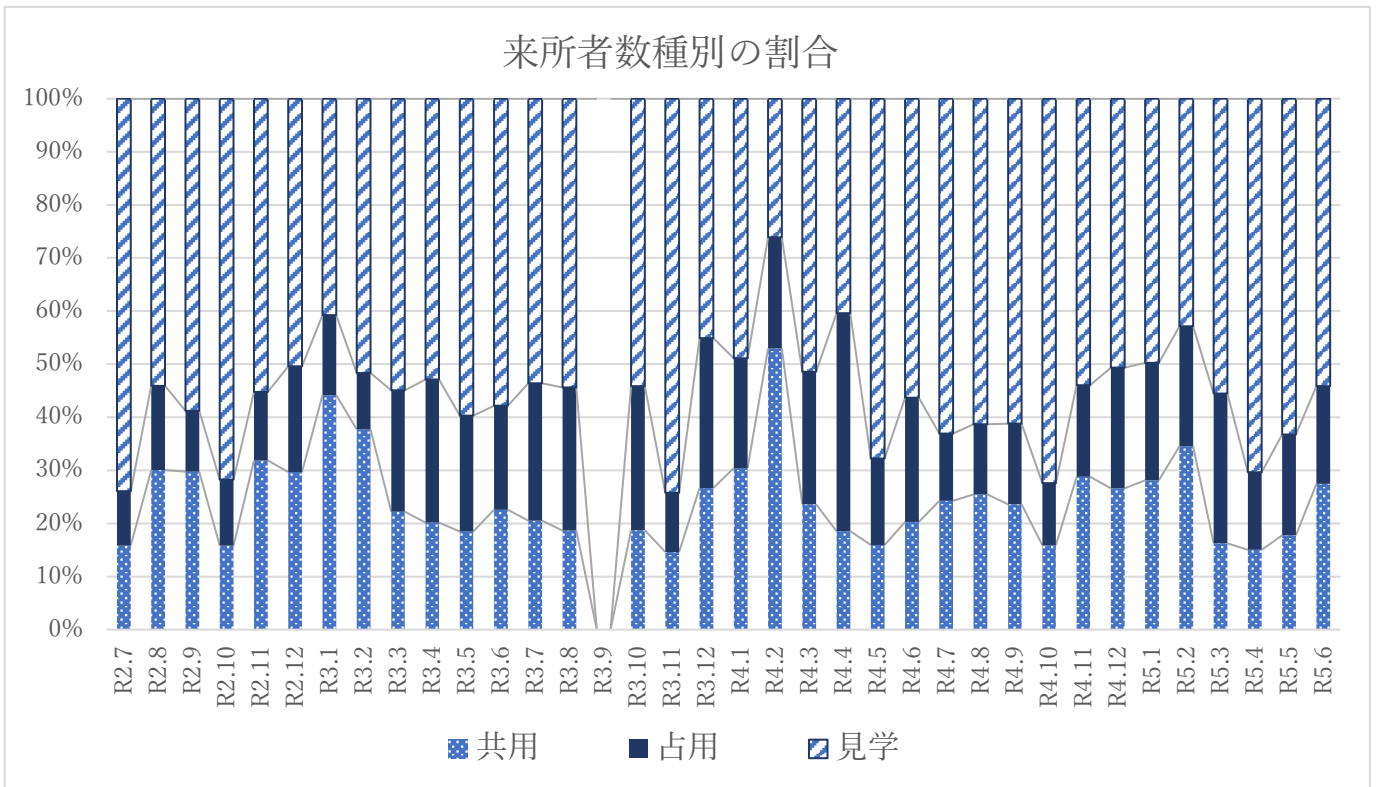


(図-2)



- ※1 年目 R3 1/16~3/7 占用受付停止 (緊急事態宣言)
- R3 4/26~6/20 午後8時以降の占用受付停止 (まん延防止等重点措置等)
- ※2 年目 R3 8/27~9/30 閉所 (緊急事態宣言)
- R4 1/21~3/6 午後8時以降の占用受付停止 (まん延防止等重点措置等)

(図-3)



≪共用≫ 利用登録者 (施設の設置目的に則した活動を行う個人または団体) が部屋を仲間で利用する場合
 ≪占用≫ 利用登録者がイベントや会議等を行うために部屋を占用して利用する場合
 ≪見学≫ 見学、休憩等に来所する市民、観光客等

(2) 利用登録者数

利用登録者総数 個人：1,388人、団体：201団体

うち1年目：個人 703人、団体 128団体

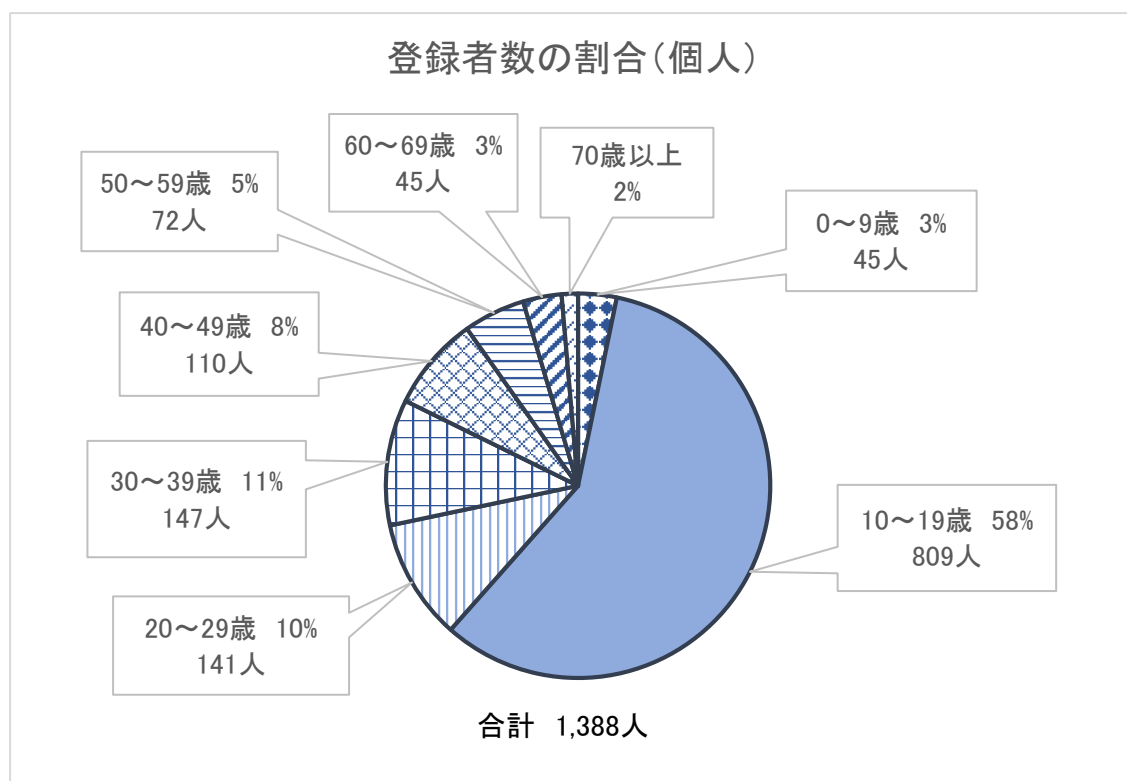
2年目：個人 303人、団体 38団体

3年目：個人 382人、団体 35団体

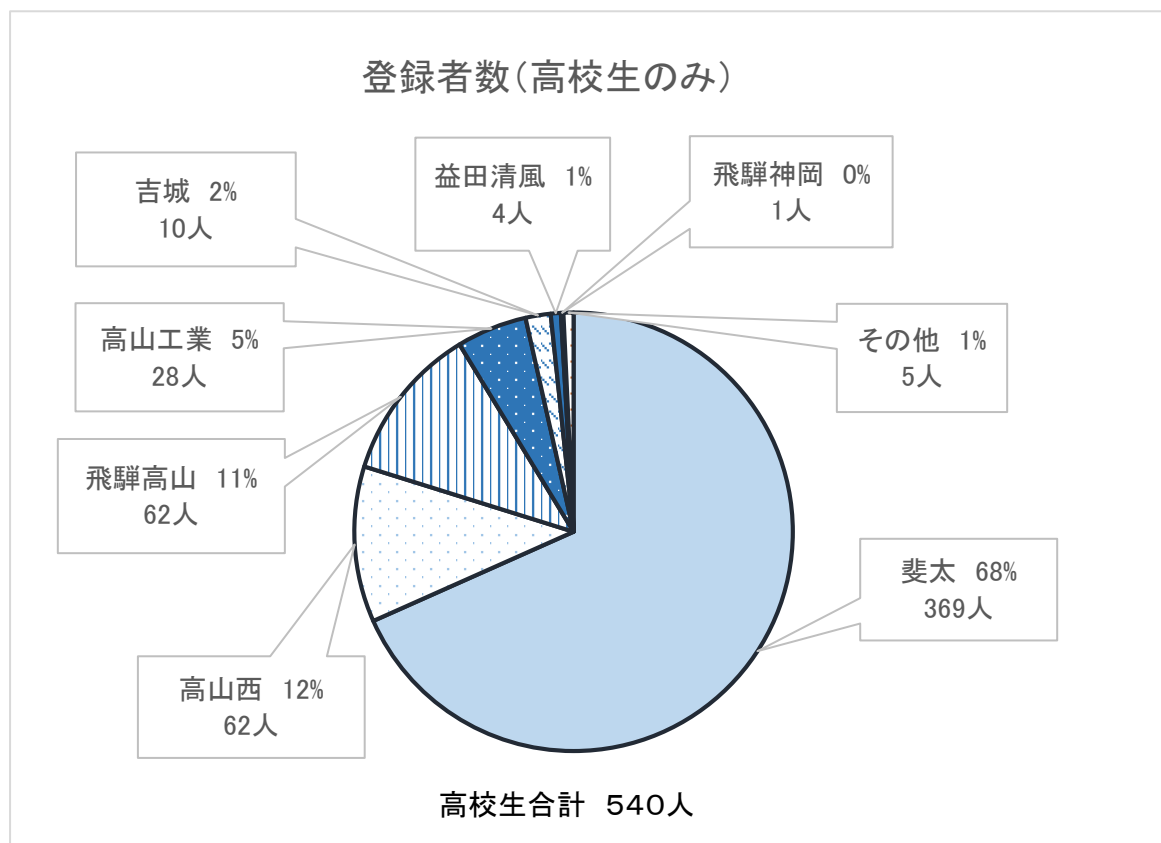
多くの方が利用者登録されているが、更新の必要がないため2年目の登録者数は減少している。年齢別でみると若者等活動事務所と「若者」を冠していることもあり、30歳未満でほぼ7割を占める。しかしながら、30歳以上が3割程度登録されたことは逆に幅広い年齢層の方々が「村半」に関心を持たれているとも言える。(図-4)

高校生の利用登録者における学校別割合では、斐太高等学校が約7割を占めている。施設の立地、距離的利便性の面はあるものの、市民から「他の学校の生徒が利用しにくい」との意見も聴かれることから、特に2年目は他の学校や学生に対してのPRにも努めてきた。3年目には、他校の学生が良く見られるようになり、登録割合も斐太高等学校以外の高校が約4割強を占めるようになった。(図-5)

(図-4)



(図-5)



3 主な利用内容

- ・学生による自習
- ・高校生等学生団体の活動拠点
- ・学校の地域探究授業や教育旅行の拠点
- ・市民活動団体による会議、発表会
- ・地域団体、商店街団体の打合せや祭りの稽古
- ・木工関係団体等による作品展示会
- ・交流（映画・動画鑑賞、音楽練習、友人との料理、誕生日会）
- ・結婚式、成人式、七五三の記念撮影 など

4 利活用検討会

より適切な施設運営を行うため、関係者による「利活用検討会」を開所前の段階から設置、話し合いを定期的に行い、利用に際しての課題検討や検証を行っており、大変重要な役割を果たしている。（事務局：市総合政策課）

[構成員] 地域団体／景観町並保存連合会／文化協会／まちづくり組織(NPO 法人まちづくりスポット)／若者活動(飛騨高山ジモト大学)／高等学校(校長会)／飛騨高山大学連携センター／市文化財課／市生涯学習課からの推薦

(外部アドバイザー) 西村幸夫 國學院大學教授／野原卓 横浜国立大学准教授

[検討会] 令和2年度5回／令和3年度5回開催／令和4年度5回開催

5 1日の来所者数 TOP 20

(表-1)

| | 年 月 日 曜日 | 来所者数 | 利用内容 |
|----|------------|------|--|
| 1 | R4 10 9 日 | 624 | 秋の高山祭1日目(3年ぶりの開催) |
| 2 | R2 10 25 日 | 476 | 飛騨の家具フェスティバル2日目 |
| 3 | R2 10 24 土 | 396 | 飛騨の家具フェスティバル初日 |
| 4 | R4 10 10 月 | 288 | 秋の高山祭2日目(3年ぶりの開催) |
| 5 | R4 7 22 金 | 246 | 長野県小諸東中学校2年生見学受入れ(約220人) |
| 6 | R4 4 3 土 | 231 | 勝田萌さん写真展 |
| | R4 9 25 日 | 231 | 飛騨地域高校テスト期間 |
| 7 | R4 4 2 金 | 228 | 勝田萌さん写真展 |
| 8 | R2 10 28 水 | 218 | 飛騨の家具フェスティバル最終日 |
| 9 | R5 5 31 水 | 197 | 飛騨地域高校テスト期間 |
| 10 | R2 10 4 日 | 196 | 高校生のためのIT人材育成セミナー |
| 11 | R5 4 16 日 | 193 | 春の高山祭の翌日 |
| 12 | R3 11 1 月 | 190 | 日枝中学校1年生見学 |
| | R3 7 25 日 | 190 | 鳩峯車組屋台幕虫干し |
| 13 | R3 11 17 水 | 182 | 飛騨の家具フェスティバル最終日 |
| 14 | R3 11 14 日 | 180 | 飛騨の家具フェスティバル準備 朝日大学の学生による家具フェスティバル動画制作 |
| 15 | R5 5 28 日 | 172 | 飛騨地域高校テスト期間、乗鞍青少年交流の家見学 |
| 16 | R3 8 18 水 | 170 | 飛騨高山フューチャープロジェクト主催イベント「地域お仕事発見隊」 (小学生によるお仕事体験)の動画編集作業 |
| 17 | R4 1 9 日 | 169 | 地元写真家による飛騨地域を撮影した写真展2日目 |
| 18 | R4 12 10 土 | 168 | 東山中学校、東山校区つながりの会「郷土の未来を語る会」 |
| 19 | R3 11 10 水 | 167 | 大垣北高校見学 |
| 20 | R5 6 3 土 | 166 | 飛騨地域高校テスト期間 |

6 情報発信

次の方法により、施設の状況紹介や利用方法の案内及びイベント情報などを発信

(1) 広報たかやま、高山市ホームページ

(2) 地域の方（下一之町、下二之町、下三之町）への広報紙 4回発行

(3) SNS（令和5年7月5日現在）

（表-2）

| | 投稿数 | フォロワー数等 |
|---------------|-------|---------|
| Instagram | 1,451 | 2,288 |
| Facebook | 1,546 | 623 |
| Twitter | 241 | 275 |
| YouTube チャンネル | 19 | 33 |

(3) 地元情報誌

月刊さるぼぼ、ブレス

(4) 新聞

中日新聞、岐阜新聞 ほか

(5) TV

R2.9.3 ぎふチャン、R2.7.1、R2.11.9～22 ヒットネットTV（ハイ！市役所です）

(6) 観光情報誌

るるぶ R3.2月発刊、まっふる R3.2月発刊

8 受賞歴

・令和2年度（第68回）全建賞（建築部門）受賞

＊建築部門の受賞は全国で7施設のみ

・令和2年度（第21回）中部の未来創造大賞 奨励賞受賞